

次世代教育研究推進事業「ミライエデュプロジェクト KAIZUKA」

貝塚市における現在の状況

現在、各校園では、市から配分されている報償費予算を活用して講師を招聘し、研修を実施するなど、課題に応じた研究を進めている。

- ①研修会講師謝金
- ②学力向上支援校内研修講師謝金（各校の希望額をもとに調整）

しかし、VUCA（※）時代に対応する人材を育成し、教員不足や教職員の働き方改革など、現在の教育課題に対応するためには、従来の学校経営や教育課程、指導方法にとらわれず、柔軟な発想で研究を推進していく必要がある。

※VUCA： **V**olatility（変動性）、**U**ncertainty（不確実性）、**C**omplexity（複雑性）、**A**mbiguity（曖昧性）の4つの頭文字をとった造語で、不確実で、将来の予測が困難な社会の状況を示す言葉



事業内容

- ①VUCA時代に対応する次世代教育を推進するため、市教委が掲げる重点努力目標の達成に資する研究を推進する学校に対して補助を行う。
- ②研究成果を他の校園に普及することで、市域全体の課題解決と教育力の向上を図る。

先進的研究テーマ



＜研究テーマ例＞

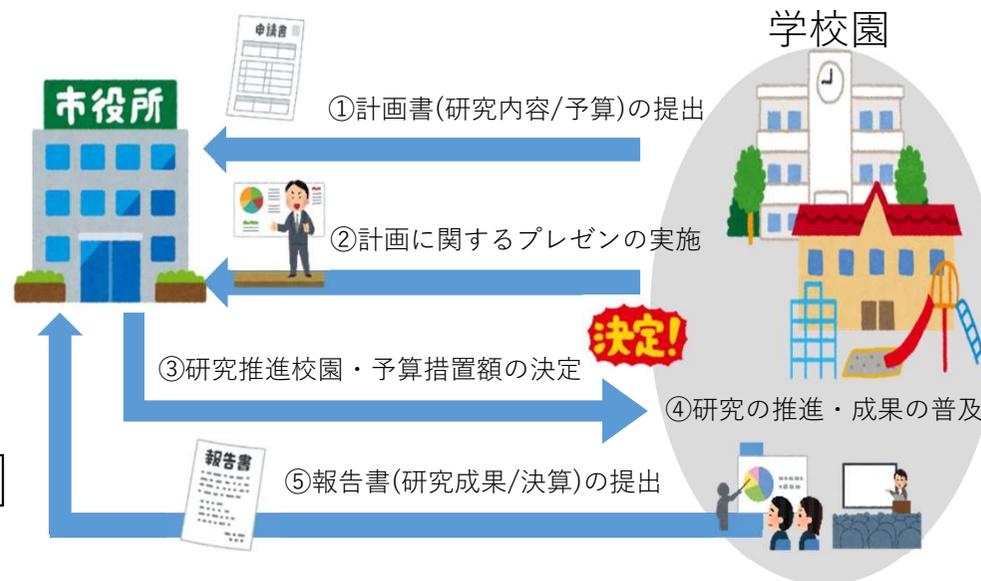
- ①小中学校における学年担任制や小学校における教科担任制の研究
- ②自由進度学習に関する研究
- ③生成AIを活用した教員の働き方改革に関する研究・授業活用に関する研究
- ④STEAMS教育の視点を踏まえた教科横断的な学習に関する研究
- ⑤ポジティブ行動支援（SWPBS）に関する研究
- ⑥今日的な課題に対応し、本市の教育をリードする実践



市教委の役割

- ・先進事例の紹介
- ・各校の取り組みへの指導助言
- ・市域全体への普及

補助スキーム



必要な取組み

研究成果の普及・発信



研究発表大会
の開催



研究紀要
の発行



研究成果の
web公開



市教委主催研修等
での報告

などの
いずれか

ゴール

次世代教育の推進を通じて、市域全体の教育力を向上し、VUCA時代に対応できる人材を育成する。